

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
1 子育て世代が住みたく なる町に	6月の定例議会で定住者の促進に対して、公営住宅の入居条件の政令月収を引き上げたことは大きな一歩だと思います。しかし、女川町で働きたい、若しくは移住したいと思う人がいても、子育て世代が定住しなければ町民は増えていかないと思います。
	公営住宅の空室が目立ちます。公営住宅入居規定の家賃以上を払ってでも町内に住みたいと望む人がいても住むことができない現状は早急に変えていくべきです。政令月収上限を上げても、共働きをしている段階で新しい公営住宅には入ることができません。大人が住む環境はある程度適応できますが、子育てをする世代にとってはできるだけ良い環境で子育てしたいのが親心だと思います。町内に適した住居が建たないのなら、希望する環境を町外に見つけ転居してしまう人の流れに歯止めがきかないのは当然です。そこで伺います。
	(1) お試し移住の成果等、本気で定住者を増やそうと思うのであれば、まずは住める環境を整えるべきでは。
	(2) 規制緩和や条例を作るなど、町としてできることがあるのでは。また、いつまでに実行する

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
2 災害に強い町づくりを	のか。
	(3) 東松島市が住み良さランキング「快適度」部門において全国で2年連続1位となりました。
	本町も都市景観大賞だけでなく、快適度、安心度、住居水準充実度を高めていくべきでは。
	(質問の相手：町長・担当課長)
	昨今のゲリラ豪雨等、雨が元で起こる災害が全国的に増えています。平成30年2月には女川町防災マップも完成し、全戸配布されました。そこで伺います。
	(1) 女川町は津波災害に対しての準備は着々とできていていると思いますが、各種災害に応じた避難訓練等、町が主催する訓練はいつから行いますか。
	(2) 土石流危険区域や急傾斜地崩壊危険箇所と指定避難場所が隣接しているところがありますが、どのように捉えていますか。
	(3) 津波災害時や、豪雨による水害時には第四保育所の避難先場所が旭が丘になりますが、指定された避難経路が低い場所を通ることになりま

質 問 者 伊 藤 恵 悟

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
	す。バイパス法面に避難用の階段を付けるべき
	では。また付ける予定はありますか。逃げ遅れ
	事例の教訓を生かすべきでは。
	(質問の相手：町長・担当課長)